

gooddays

Vol. **14**

around KANDA NISHIKI - CHO
New Culture & Alternative Lifestyle

2018 AUTUMN ISSUE
PRICE 0 YEN

特集：神田錦町界隈、
定食の名店が集まる街





定食が食べたくて。

around KANDA NISHIKI - CHO

Special Issue 14 Autumn '18

神田錦町界隈、 定食の名店が集まる街

TEXT • Yuki Motomura / PHOTO • Chie Maruyama

お昼時、ランチの選択肢といえば、パスタ、ラーメン、そば、カレー、とにかく色々あるが、無性に定食が食べたくなる時はないだろうか。ご飯と汁もの、そして主菜がセットになった日本独自のバランスミールは、忙しくて不規則な生活が続いたり、疲れた体をリフレッシュしたい時だったり、胃袋はもちろんのこと、心まで満たしてくれるような気がする。

品数が多いからなのか、ご飯と汁もの組み合わせが日本人に馴染み深いからなのか、その理由は定かではないが、定食というのは、なんとも不思議な魅力を持っていることは確かだ。

さて、神田錦町界隈を見回してみると、実に多くの定食屋が存在する。昔ながらの定番メニューを提供する店もあれば、魚にこだわった店だっ

たり、ヘルシー志向の店もあつたりする。特に最近では、定食という1つのフォーマットを使って、様々なコンセプトを打ち出す店も出てくるなど、その文化は独自の進化を始めている。“バランスのとれた食事”という選択肢以外に、そのお店に行きたくなる理由は何なのか。界隈でも特に人気を集める注目の定食屋をピックアップしてみた。さあ、今日はどんな定食を食べようか。



GOOD DAYS STORY
Vol.
17

Message from
Shunsuke Ushida



「風土はfoodから」は、2018年7月23日にオープンしたばかりの新しいお店です。もともと酒屋さんが入っていたビルを一棟お借りしてリノベーションし、「錦町ブンカイサン」という名前で生まれ変わらせました。1~2階は飲食店、3階はコワーキングスペース、4~5階は居住スペースになっています。ビル全体を通して国内外のローカルが混ざり合い育っていく場所になることを目指し、その入り口として、一番身近な「食べる」ための場所を設えました。しかも、ただ食べるだけではなく、地域の食文化を編集して紹介する「食べられるミュージアム」として展開。評価アプリの流通などで通例化されてしまった「美味しい」という常識が分解され、人と場所がセットになった「食文化」が体験できる、驚きや発見のある場所にすることが狙いです。

実は、私自身普段は秋田県に住んでいるのですが、ローカルの食の営みや文化は多様性がある面白いですね。メディアにも出ないような未知の食文化が、日本はもちろん世界中に眠っているのではないのでしょうか。そういったものを

人と文化がじっくり育つ土壌で、
食を通じたコミュニティを作りたい

編集して展示することで、もっと面白くならないと思います。料理は、世界中のおばあちゃんの知恵を生かしたおぼんざいを中心に出示しているのですが、より楽しく深く知っていただくまでのプレゼンテーションのあり方を日々探究しています。お店では絵画作家や写真家など多様な表現者が働いており、彼・彼女達の個性も絡み合いながら、「そだつレストラン」として変化し続けていきたいです。

もともと神田錦町界隈はアカデミックな背景を持つ地域で、近隣には出版社や大学もいまだに多く、短期的に成果を求めるといよりは、懐深く、ゆっくり人が育つ土壌があると思います。私自身も教育をテーマに据えたベンチャー企業を経営していて、2004年から神田錦町界隈で働くようになりました。このあたりは、東京のど真ん中でありながら、ローカル感が根強く残っていますよね。そういったこの街ならではの魅力を受け継ぎながら、次世代が育っていく環境を、このビルで体現していけたらと思っています。まだ始まったばかり。様々なことにチャレンジしていきたいです。

丑田俊輔 Shunsuke Ushida
ハバタク株式会社 代表取締役

学生時代、公共施設をまちづくり拠点として再生するちよだプラットフォームスクウェアの創業期に参画。日本IBMを経て、2010年にハバタクを設立。「新しい学びのクリエイティブ集団」として、様々な教育事業を開発。2014年に秋田県五城目町に移住。地域に根ざした起業家育成「ドチャベン」、古民家を舞台に都会と田舎をつなぐ「シェアビレッジ」、まちの遊休施設を遊び場化する「ただのあそび場」等を展開。2018年、人と事業と文化がそだつビル「錦町ブンカイサン」を神田錦町に開設。



新しいカタチをご紹介します。

様々な進化を遂げた定食の様々に進化を遂げた定食の味付けやオーダーの仕方など、新感覚の定食が続々登場。

コンセプトに基づいた

神田錦町界隈には、

NEW 定食の 新しい カタチ

神田錦町界隈発



01. 風土はfoodから

世界各地のおばあちゃん料理を味わえる、おばんざい3種定食

大きなれんをくぐると、開放感のあるオープンキッチンが迎えてくれる。ランチのメニューは1種類。世界各地のおばあちゃんの料理をコンセプトに、日替わりのおばんざい3種盛とごはん、味噌汁、小鉢がセットになっている。昔懐かしい味付けもあれば、スパイスの効いたエスニックテイストもあり、ベーシックな定食の中に、まるで旅をしているような新しい食文化の発見を見出すことができる。2階のミュージアムスペースでは、食にまつわる企画展を定期的に開催。ただ食事するためだけでなく、食を通じたコミュニティとして、神田錦町界隈に新たな風を吹き込んでくれる注目のスポットだ。

おばんざい3種盛定食 1,000円(税込)

- ・2種のジャガイモのアラテルダーラ
- ・自家製鶏ハムとコリンキーのジェノバマスタード
- ・願寿ゴーヤのキムチチャンプル



東京都千代田区神田錦町3-15錦町ブンカイサン 1-2F
月～金 ランチ 11:30-14:00 / ディナー 17:00-22:00
土日祝定休 ※定食が食べられるのはランチのみ
bunkai-san.jp/fudofood/

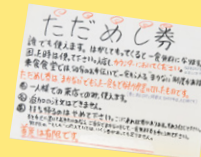
02. 未来食堂

一風変わった
システムはもちろん、
ほっこり優しい味わいにも注目

オープンして間もなく「あつらえ」や「まかない」といったこれまでにないシステムを採用していることで話題となった未来食堂。ランチメニューは日替わり定食1種類で、席につくとおひつとお茶碗が渡され、ご飯をお好みの分量でよそっておかずを待つ。すべてに無駄がなくスピーディだが、ほっこり優しい味わいで、ボリュームもしっかりある。50分のお手伝いで一食無料になる「まかない」制度は、年齢制限なし。学生はもちろん、将来飲食店を開く夢を持つ方や小学生の男の子まで、幅広くトライしているよう。

東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館 B1
火～木 11:00-16:00 / 金土 11:00-22:00 日祝定休
miraisokudo.com

日替わり定食 900円(税込)
ピーマン肉詰め&ナスの肉詰め揚げ ラタトゥイユソースで



03. 鹿屋アスリート食堂

管理栄養士が監修した、
バランスの良い「一汁一飯三主菜」定食

管理栄養士監修による「スポーツ栄養学」に基づいた定食メニューは、お好みの主菜3品とごはん、汁物のセット。主菜は常時15種から自由に組み合わせることができ、野菜を中心としたヘルシーなおかず中心、肉や魚を中心としたがつり系など、お好みでアレンジできるのがポイント。ごはんも数種類の穀物を配合したオリジナルの「アス米」か、白米のどちらかから選ぶことができる。レシートには注文した献立の栄養素が記載されているので、食事記録をつけている方にもぴったり。

東京都千代田区神田錦町3-21 10OVER9 1F
月～金 11:00-22:00 (L.O.) 土日祝 10:00-20:00 (L.O.) 定休日なし
asushoku.com

一汁一飯三主菜の定食 ¥970(税込)

- ・豚レバーの唐揚げ マスタードソース / 豚キムチ
- ・水菜と長芋と海藻のサラダ 海苔のドレッシング





みますや

明治 38 年創業の老舗居酒屋が手がける
ランチメニュー

明治時代から続く老舗居酒屋のランチメニューは、王道の定食スタイル。オーダーの仕方は一風変わっていて、まずお盆を持って店奥にある広めのテーブルで主菜と副菜を1品ずつ選ぶというもの。そして味噌汁と漬物を取り、ご飯は好みの量を伝えてよそってもらい、お会計を先に済ませてから食べる。プラス100円で副菜をもう1品追加することもできる。おかずは早いもの勝ちでどんどんなくなっていくので、食べたいメニューがあるなら早めに行くのがおすすめ。

東京都千代田区神田小川町2-15-2
月～金 11:30-13:30 / 17:00-23:00 (22:20 L.O.)
土 ランチお休み / 17:00-22:00 (21:20 L.O.) 日祝定休
※定食が食べられるのはランチのみ

アジフライ定食 800円



家庭料理 たんぽぽ

たくさんの種類から選べる
「今日のおすすめ」が嬉しい

新御茶ノ水駅近くにある「家庭料理 たんぽぽ」では、その日仕入れた素材で作るとい「今日のおすすめ」メニューに注目。魚を中心に季節の旬を取り入れたものが多く、種類も豊富で、思わず目移りしてしまうほど。新鮮なお刺身と揚げ物が一緒に楽しめるメニューもあり、ボリュームもたっぷり、コスパも十分。料理と一緒に付けてくるプラスチックの番号札を持ってお会計するシステムも、どこか懐かしい。常連も多く、お昼時は混雑必至。

東京都千代田区神田小川町3-28-13
ラフィネお茶の水1F
月～金 11:00-14:00 / 17:30-21:20 土日祝 定休
※定食が食べられるのはランチのみ

お刺身盛り合わせとヒレカツ海老フライ1,000円(税込)



キホンの定食

around Kanda Nishiki-cho



変わり種もいろいろけど、やっぱり王道もいい。

歴史ある老舗から、〇〇が旨いこだわりの名店まで、珠玉の4店舗をご紹介します。



人形町 田酔 神保町分店

ちょっと贅沢な気分を味わえる、
お米が主役の定食

人形町に本店を構える「田酔」は、「田んぼの恵みに酔いしれる」という意味が込められており、夜は日本酒、昼はお米が主役の「名物・銀しゃり定食」を提供している。メインとなる「南魚沼産特Aこしひかり」はモチモチの食感が甘みが強く、ふっくら焼き上げた自家製の西京焼きや、出汁のきいた京風出し巻き卵などと相性ばっちり。佃煮や梅干し、香の物など、ご飯のお供が豊富なのも嬉しい。落ちついた雰囲気の内店で、ゆっくりランチを楽しみたい時にどうぞ。

東京都千代田区神田神保町1-19 すずらん通り T&Aビル B1F
<ランチ> 月～金 11:30-14:00 / 土 11:30-14:00
<ディナー> 月～金 17:30-23:00 / 土 17:30-22:00 日祝定休
※定食が食べられるのはランチのみ
densui.net/jinbo_index.html

銀鱈の西京焼き 1,500円(税込)



魚玉

築地で仕入れた
旬の魚を味わえる定食屋

もともと大正12年に鮮魚店としてオープンしたが、40年前にお魚を食べられる定食屋にリニューアル。家族4人で経営しており、今年で90歳になるという大将も現役で包丁を握っている。定番メニューのほかに、築地で仕入れた旬の魚を使ったメニューが並び、取材に伺った時はちょうど新さんまが入ったとことで、塩焼きを味わうことができた。脂の乗った肉厚のさんまは、この時期ならではの醍醐味。美味しい魚が食べたいなら、迷わずここへ駆け込もう。

東京都千代田区神田神保町1-32 星野ビル1F
月～金 11:00-14:30 / 17:00-19:40 土日祝定休
※定食が食べられるのはランチのみ

新さんま定食 750円(税込)



国内外のアーティストが滞在し、制作・発表をおこなう「AIR 3331」。
そこで彼らが見たもの、感じたものとは。



"DEAF MAN'S FANTASY"

自分が感じた傷みや喜びなど、様々な感情をファンタジーの世界で表現しています。水のモチーフは、知られざる自己を探し求める旅の象徴です。この果てしない旅は、私という存在を解放するものでもあります。滞在中に描いたのは、

耳と口が溶解して、目だけが機能しているイメージ。日本語がわからない私を表現しています。神田錦町界隈をはじめ、都内を色々と回りましたが、皇居周辺の風景がとても印象的でした。

スーチング・チャイ(タイ)

Schedule

AIR3331

- クリステン・オッセン・ケック (デンマーク) / 滞在期間: 10/4(木)～10/31(水)
- ヤンウォン・キム (韓国) / 滞在期間: 10/30(火)～12/18(火)
- レキシシー・ツェング (台湾) / 滞在期間: 10/30(火)～11/26(月)

※スタジオ公開日やイベント情報は、ホームページ(residence.3331.jp)やFacebookなどで随時発信いたします。

連載
企画

如月まみが案内する、神田錦町界隈の四季

錦町さんぽ

Vol. 14

文・「神田錦町 如月」女将 如月まみ 写真・鈴木優太



第 14 回

お気に入りの雑貨店で物欲の秋を満たす

過ごしやすい秋の季節は、お出かけが楽しくなりますよね。今回は、神田錦町界隈にある大好きなお店「FESTINA LENTE」をご紹介します。

アンティーク雑貨や作家さんの作品を扱うセレクトショップで、以前から時間を見つけては足を運んでいました。店名は「ゆっくり急げ」という意味で、ヨーロッパの古い格言なのだそう。その名の通り、実用的というよりは、毎日の暮らしに華を添えてくれるような、作り手の思いがこもった美しい雑貨が揃っています。繊細なアクセサリやアートピースのような文具などが幅広くセレクトされているのですが、そのどれもが私のツゴ！ここに来ると、つい長居してしまいます。今回は久しぶりだったこともあり、ヴィンテージのアクセサリパーツやキーリング、お気に入りのお香など数点購入。買い物欲が満たされました！



神田錦町 如月

Kanda Nishiki-cho Kisaragi
酒場のおんな「如月まみ」が女将として立つ和食屋。如月まみが全国から選び、取り寄せた旨し酒と肴に料理人多賀谷が作り出す、和の味わいをお楽しみください。
東京都神田錦町 2-3-10
TEL: 03-3518-2212
kandanishiki-kisaragi.jp
月～土 17:00-22:00 / 日祝 定休
※土曜は予約制



FESTINA LENTE

フェスティナ レンテ
オーナーと店主が独自の視点でセレクトしたユニークな雑貨店。アクセサリや衣類、古本、文房具など幅広く取り扱う。
千代田区神田錦町 3-16 香村ビル 2F
MAIL: info@festinalente.shop
festinalente.shop
12:00-19:00
不定休



「第8回神田カレーグランプリ 2018」

グランプリ決定戦

Event Date:
2018/11/3 SAT - 11/4 SUN



日本一のカレータウン・神田が、年で一番ホットに盛り上がるカレーの祭典。37もの店を対象とし9月1日から10日に開催された予選ファン投票の結果、グランプリ決定戦へ駒を進めたのは以下の20店舗。

秋葉原 カリガリ / アジアンダイニングバー-SAPANA水道橋西口店 / アバ社長カレー 飯田橋駅南店 / いずみカレー 水道橋店 / イベリコ豚・ワイン居酒屋 ドンファン / いわま餃子-EXOTIC DINING- / インド料理 ザ・タンドール / カリー&ワキンべっぴん舎 / ガンディーマハル / kitchen723 / 品川基作本店 / ジャンカレー / ジョイアルカレー 神田錦町店 / スープカレー屋オオドリ<鴻> 神田駿河台店 / Spice Box / チャントーヤ ココナッツ カリー / Dippalace 飯田橋サクラテラス店 / BAR CAFE 三月の水 / MAJI CURRY 神田神保町店 / ラホール外神田店

栄えあるグランプリに輝くのは果たしてどのお店か? 会場に一堂に集まる選りすぐりの味覚をあれこれ味わい、グランプリを決める票を投じてみよう。詳しくはHPをご参照。

期間: 2018/11/3(土)~11/4(日)
(カレー提供は3日11~19時、4日11~17時。投票は4日16時まで)
会場: 小川広場(千代田区神田小川町3-6)
お問合せ: 神田カレー街活性化委員会
HP: kanda-curry.com MAIL: info@kanda-curry.com

ナインアワーズ竹橋

New Venue:
Capsule Hotel



ナインアワーズ竹橋
お問合せ: 東京都千代田区神田錦町3-11-15
HP: ninehours.co.jp/takebashi/

あのシンプルで高品質な宿泊体験が、神田錦町でも

2009年に第一号店の京都店をオープンさせ、「シャワーに1時間+睡眠に7時間+身支度に1時間」というミニマルなコンセプトで大きな注目を浴びたナインアワーズ。高いデザイン性を備えたシンプルな宿泊ステイのあり方を確立した同施設が、3月30日に竹橋店をオープンしているのをご存知だろうか。24時間対応のランステーションのみの利用も可能で、皇居ランナーにとっても有難い限り。

COFFEE COLLECTION

around KANDA NISHIKI-CHO 2018 AUTUMN

Event Date:
2018/11/3 SAT - 11/4 SUN



日本中から選りすぐりの
のコーヒー店が神田錦町に揃う

純喫茶が点在し、本物のコーヒー文化が根付く神田エリアに日本全国から厳選した10のコーヒー店が集まります。会場ではそのコーヒーを、全店が同じ抽出器具を使い、同じ条件で抽出。豆の個性や淹れるパスタによって異なるコーヒーの味わいを楽しめます。今回はコーヒーの美味しさと価値を“伝えること”に焦点をあてた様々なイベントや、今につながる喫茶文化を築いた「神田の喫茶写真展」も開催予定。

日時: 11/3(土)~11/4(日) 11:00-18:00
メイン会場: テラススクエア
(千代田区神田錦町3-22)
第2会場: 錦町トラッドスクエア
(千代田区神田錦町3-20)

お問い合わせ:
COFFEE COLLECTION 実行委員会 (GLITCH COFFEE & ROASTERS) 内
東京都千代田区神田錦町3-16 香村ビル1F
TEL 03-5244-5458 (お問い合わせ時間 10:00-17:00)

OUR MUSIC FESTIVAL 2018

～神田錦町音楽祭～

Event Date:
2018/11/3 SAT



神田錦町でつながる、わたしたちの音楽祭

"OUR MUSIC FESTIVAL"は、神田錦町に集う音楽を愛する人々による市民参加型の音楽フェスティバルです。わたしたちはこのフェスティバルの開催を通じて、街に「音楽のある風景」をつくっていくことを目指します。この音楽祭の主役は、この街に集い、働き、学び、暮らす、あなたやわたしたちです。ライブ、ワークショップ、トークショー、マーケットなど、音楽にまつわる様々な催しを通じて、神田錦町界隈の豊かな文化資源を感じることもできるこの音楽祭に、是非ご参加ください。

日時: 11/3(土・祝) 11:00-19:00
メイン会場: テラススクエア(千代田区神田錦町3-22)
サテライト会場: GOOD MORNING CAFE 錦町、楽屋

お問合せ:
OUR MUSIC FESTIVAL 実行委員会
MAIL: info@ourmusicfestival.tokyo



AREA MAP



SET MEAL MENU Issue
「定食」特集でご紹介した場所



A Day with Art / 錦町さんぽ 他
本誌連載にて紹介したお店



Event / New Venue
神田錦町界隈のイベント/新店舗

